

〔 久良岐能舞台 〕

平成 3 0 年度業務報告及び収支決算

〔 株式会社シグマコミュニケーションズ 〕

※文中の事業欄において、
 ●：主催事業 ○：共催事業 を示します。
 ※文中の達成指標、達成状況欄において、
 □：定量的指標 ■：定性的指標
 を示します。

I 施設の概要

施 設 名	久良岐能舞台
所 在 地	横浜市磯子区岡村 8-2 1-7
構造・規模	木造平屋建
敷地・延床面積	延べ床面積 341.66 m ² 管理区域面積 4,581.00 m ²
開 館 日	昭和 62 年 10 月 6 日

II 指定管理者

法 人 名	株式会社シグマコミュニケーションズ
所 在 地	東京都港区芝 4-1-23 三田 NN ビル 3F
代 表 者	代表取締役社長 村上雅弘
設立年月日	昭和 61 年 4 月 1 日
指 定 期 間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで

III 指定管理に係る業務総括

1 基本的な方針の総括

【指定管理期間中の使命の実現】

- ①市民が能楽等に親しむ機会を提供し、能楽等を中心とした市民の学習・創作活動・技術研鑽を支援すると共に、能楽等が横浜の市民文化の一つとして定着・発展するための役割を担いました。
- ②能楽等の練習機能を軸として、子どもたちが古典芸能に接する機会を提供するとともに、能楽等の継承及び新たな愛好者の育成等に努め、横浜における能楽等の振興拠点となる活動を行いました。
- ③久良岐公園の一角に位置し、自然環境に恵まれた日本庭園内にあることから、公園管理者、地域と連携して環境を維持・保全すると共に、地域の文化的コモンズの形成を見据えて市民協働の取組を進め、能楽等を通じた市民文化の振興及び活力あるまちづくりに寄与しました。

【ミッションへの対応】

- ①初心者から経験者までの幅広い層を対象として、謡・仕舞・囃子の能楽講座を引き続き開催し、能楽愛好者の育成と普及振興を図りました。
- ②日本舞踊基礎講座を継続して開催し、愛好者の育成を図りました。
- ③子どもたちの芸術体験として狂言鑑賞教室をインリーチ、アウトリーチの両方で実施し、本物の体験を通じた能楽の普及に努めました。また、近隣小学校の 2 年生を対象に、当館にて能楽講座を実施しました。後日、学校で開催された能についての発表会に職員が出席し、指導することで伝統芸能に関わる次世代の育成に貢献しました。
- ④久良岐能舞台の地元、地域自治会等との協働事業として「久良岐まつり」を継続して開催しました。

2 30年度の業務の方針及び達成目標の総括

【全体業務の総括】

指定管理期間第3期の3年度目として事業の着実な実施に努めました。

1. 文化事業の総括

- 高齢化が著しい能楽愛好者の減少に対応して、若返りや新たな愛好者の育成を図るための事業として23年度から始めた能楽入門講座、2年コースの謡・仕舞講座を実施し、公共施設においては能界で初めての通年型養成講座として注目を集めると共に、講座受講生等による研鑽会（発表会）では、囃子・地謡がついた舞囃子を各流の受講生で実施し、大きな成果を挙げました。能楽入門講座の受講者は増加しましたが、日本舞踊基礎講座においては毎年、新規受講生が減少しているため、今後事業を継続させるためには新たな対策が必要不可欠となっております。この状況に対応するため、講座受講生募集のチラシを作成し、各所への広報活動に積極的に取り組みました。今後も、新たな対策が必要になってくると考えております。
- 指定管理者の費用全額負担による教育普及事業「小学校向け狂言鑑賞教室」や横浜市芸術文化教育プラットフォームによるアウトリーチ事業「アーティストが学校へ。」等の教育支援事業でも多くの学校の参加を得て、教育の場面を通しての伝統芸能の普及を推進しました。
- 新規事業として地元の藤の木小学校2年の子どもたちによる能楽学習に協力。当館にて職員による能楽講座を実施しました。後日、学校にて行われた発表会に職員が出席し、指導をすることで伝統芸能に関わる子どもたちの育成に成果をあげました。
- コンサートやパフォーマンス、施設特性を活かした茶会等、能楽のみならず、幅広い事業を行うことで、初めて来館されるお客様が増加し、当館の知名度向上につながりました。

2. 施設運営の総括

- 多くの施設見学希望者や利用者に対して、職員全員が親切丁寧に対応しお褒めの言葉をたくさんいただきました。
- 自主事業の広報のみならず、貸館で利用されている団体のメンバー募集についても積極的に協力するなど様々な機会を利用して施設の周知に努め、利用率の向上を図りました。
- 能楽等の伝統芸能の専門施設として相応しい職員育成のため、都内等の近隣能楽堂での能楽公演での研修を推進し、能楽に関する知識や意識の向上を図りました。
- ボランティアスタッフ（久良岐能舞台サポートスタッフ）の参加による市民協働の運営は、自主事業のサポートと美観維持清掃管理の2分野で実施しました。

3. 施設管理の総括

- 庭園等の美観維持のための清掃管理は、職員による適切な維持管理活動のほか、久良岐能舞台サポートスタッフ（市民ボランティア）や南土木事務所所管のグリーンサポーター（ボランティア）も参加し、活発な環境維持推進が行われました。また、庭園で散歩される方が休憩できるよう南部公園緑地事務所に相談の上、施設前にベンチを設置する等サービスの向上に努めました。
- 建屋屋根上落ち葉の除去や各部屋の障子の張替え、倒木の危険性がある木の伐採等、安全及び長寿命化のための維持管理を実施しました。

4. 収支の総括

- 指定管理料のみに依存しない収支構造構築のため、柱となる施設利用料の増収を図り、施設周知の向上を図りましたが、前年よりは増収したものの、予算額を達成することはできませんでした。また、自主事業収入の不振を補いきれず、収支全体でも赤字となってしまいました。

5. その他の総括

- 日報や日々の業務における問題点の発見、事業参加者や施設利用者からのアンケート集計結果などを検討対象としたPDCAの確実な運用を行い、自己業務評価を行いました。評価や点検の結果は全職員が共有し、次の業務改善へつなげました。

IV 業務の達成状況

1 文化事業について

(1) 能楽等を知り、親しみ、体験することができる機会の提供

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 自然環境や空間特性を生かし、社会的包摂を意識し幅広い市民が能楽等を知り、学ぶことができる事業の実施 ●「日本舞踊 素敵なお話と優雅な舞」 〔日本舞踊講座導入事業〕 ●「久良岐能楽体験大会」 〔能楽入門講座導入事業〕 ●「竹灯籠まつり」	※「満足度」とは、アンケートにおける満足度5段階評価のうち、無回答を除く上位2段階（「大変良かった」及び「良かった」）の割合とする。 （以下同じ） 実施時期 4月 □参加者数 50名 □顧客満足度 90%以上 実施時期 5月 □参加者数 40名 □顧客満足度 90%以上 年度の途中で実施	6月から開始する日本舞踊基礎講座の導入事業として実施。観るだけでなく、話を聞いて学び、体験して学習意欲を喚起しました。 能楽入門講座の導入事業として実施。喜多流、金春流、宝生流の3流を鑑賞して体験できるワークショップを実施しました。 知名度向上のための取り組みとして作成した竹灯籠の完成記念として、KURAKIによる歌と演奏、海外で活躍するパフォーマーのパフォーマンスを披露。竹灯籠を見ながら寛いでいただけるよう、茶の湯も提供しました。	■4月22日実施 □参加者数 37名 □満足度 100% □アンケート回収率 27% ■5月6日実施 □参加者数 31名 □満足度 100% □アンケート回収率 48.4% ■2月5日実施 □参加者数 90名 □満足度 94% □アンケート回収率 93.8%
② 市民の能楽等への関心や理解を深める機会として、久良岐能舞台所蔵の能装束等の展示・公開の実施 ●「所蔵能装束公開展示+囃子演奏」	実施時期 9月 □講演会参加者 50名 □顧客満足度 90%以上	所蔵能装束の虫干しを兼ね、所蔵能装束の展示と囃子の演奏を行いました。装束の紹介パネルには英語表記も追記し、外国の方でも楽しめるよう、工夫しました。	■9月2日実施 □参加者数 138名 □満足度 100% □アンケート回収率 68.1%
③ 新規利用者の増加に向け、能楽等を中心とした様々な伝統芸能鑑賞等の機会の提供 ●「能 葵上」公演	実施時期 1月 □参加者数 100名 □顧客満足度 90%以上	初心者向けに公演前に解説を行ったり、シーン解説のハンドブックを作成することで、判り易い能の公演を実施しました。	■1月27日実施 □参加者数 102名 □満足度 100% □アンケート回収率 47.1%

●第 11 回久良岐狂言会	実施時期 3 月 □参加者数 100 名 □顧客満足度 90%以上	演目 解説 三浦裕子 狂言 布施無経 能 葵上 人間国宝である山本東次郎師にご出演いただき、狂言 3 本を披露。伝統芸能に親しみを持ってもらえるように話を交えながら公演を実施しました。	■3 月 17 日実施 □参加者数 117 名 □満足度 100% □アンケート回収率 70.9%
●久良岐ワールド	実施時期 12 月 □参加者数 50 名 □顧客満足度 90%以上	新規顧客獲得のために久良岐の環境を活かし、茶会とクラシックコンサートを実施しました。	■12 月 2 日実施 □参加者数 79 名 □満足度 100% □アンケート回収率 77.2%
●KURAKI スペシャルコンサート ゲスト:森 弘一郎～	実施時期 4 月 □参加者数 80 名 □顧客満足度 90%以上	新規顧客獲得・若年層にも参加していただくための事業として実施。多方面で活躍中のアーティストによる久良岐発のユニットを結成し、海外で活躍するパフォーマーとのコラボレーションコンサートを実施しました。	■4 月 8 日実施 □参加者数 97 名 □満足度 100% □アンケート回収率 57.7%
●KURAKI フィーチャリング 森 弘一郎～スペシャルゲスト (金春流能楽師) 山井 綱雄	実施時期 7 月 □参加者数 80 名 □顧客満足度 90%以上	KURAKI 発の音楽ユニット、パフォーマー、更に金春流能楽師に参加していただき、浦島太郎のその後の物語をイメージしたパフォーマンスを実施しました。	■7 月 22 日実施 □参加者数 140 名 □満足度 98% □アンケート回収率 55.0%
④ワークショップ等による能楽等の市民の関心や興味を広げる普及啓発事業の実施 ●「事前ワークショップ 能 葵上を知る」	実施時期 1 月 □参加者数 40 名 □顧客満足度 90%以上	「能楽の魅力を知る会 事前ワークショップ 能 葵上を知る」公演に先立ち、葵上について学ぶワークショップを開催しました。	■1 月 13 日実施 □参加者数 40 名 □満足度 100%
⑤愛好家未満の立ち位置にある市民へのアプローチ	実施時期 10 月 □参加者数 100 名 □顧客満足度 90%以上	新規顧客の獲得を目的として「李政美コンサート」を実施。韓国人歌手による	■10 月 21 日実施 □参加者数 61 名 □満足度 97%

○「久良岐まつり 能舞台イベント」		コンサートを実施しました。	□アンケート回収率 76.7%
-------------------	--	---------------	--------------------

(2) 子ども達への文化芸術へ触れる機会の提供、能楽等の継承のための取組

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①地域コミュニティを巻き込んだインリーチ事業等による、能楽等の伝統芸能の実施	「小学校向け狂言鑑賞教室」 実施時期 11月（3日間） □各1時間の鑑賞教室を9回実施 □参加者数 1,200名（参加校15校） 参加校の選定は各区の小学校校長会に委ねられています。 □顧客満足度 90%以上	能楽と子ども達をつなぐ教育支援事業。 久良岐能舞台近隣3区（磯子区・南区・港南区）の小学校6年生を学校単位で招待し、教科書に出ている狂言「柿山伏」の鑑賞及び狂言ワークショップを教育支援事業として開催。 能舞台で狂言師による狂言を鑑賞し、狂言ならではの所作や発声などを学習・体験してもらいました。 講師 善竹富太郎 吉田信海 川野誠一	□11月12日、16日、26日 3日間 9回実施 □参加校 17校 □参加者 1358名 □参加者満足度 結果：100% （口頭での確認） ※費用全額弊社負担による教育支援事業として実施。
②横浜市芸術文化教育プラットフォーム等のアウトリーチ事業により、幅広い子ども達への能楽等体験事業の実施	「狂言鑑賞教室」 伝統芸能部門のコーディネーターとして、小学校向け狂言鑑賞教室のアウトリーチを実施 ■実施時期 参加希望校との時期調整による ■参加者数 参加希望校による（5校程度） □顧客満足度 90%以上	久良岐能舞台から狂言師を市内小中学校へ派遣し、教科書に取り上げられている狂言「柿山伏」の芸術鑑賞及び狂言体験講座を開催しました。 横浜市芸術文化教育プラットフォーム主催「アーティストが学校へ」は、今回で12年目です。当館はアーティストと学校の仲介役であるコーディネーターを担当し、今回で7度目の参加となりました。 講師（狂言） 善竹富太郎 吉田信海 川野誠一	□久良岐能舞台担当分 狂言教室受託校5校 アウトリーチ活動として久良岐能舞台担当の古典芸能（狂言教室）を実施し、学校単位で狂言を体験し、古典芸能の普及に繋がりました。 実施学校名 9月11日 荏田南小学校 95名 10月22日 篠原小学校 111名 10月22日 西金沢学園 70名 10月29日 南台小学校 106名 11月21日 東品濃小学校 76名 □顧客満足度 参加全校に実施後の意見を求めた結果：全校にご満足いただき、感謝のお言葉や狂言師への寄せ書き等もいただきました。

(3) 能楽等の稽古、発表その他の活動支援の取組

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①能楽等の稽古、発表等の活動支援に向けた外部専門家による助言・指導体制の確保	■能楽を学ぶ愛好者のため、喜多流・金春流・宝生流の能楽師を講師として委嘱、日本舞踊を学ぶ愛好者のために日本舞踊家を委嘱する。	伝統芸能のお稽古は師弟関係を基礎として成り立っているため、流儀ごとの専門家（玄人）を講師として迎えています。	■講座、流儀ごとのお稽古・発表会では適切に助言・指導を実施しました。
②利用者情報、活動継続に向けた情報の提供等による活動支援の実施	■利用者情報の提供 施設利用申し込み時に、利用情報 HP への掲載希望を併せて伺い、希望する内容を施設の HP に掲載する。	施設 HP の月間スケジュール欄の当該利用団体が希望する事項に「見学可」と掲載し、団体の活動継続に向けた支援を行いました。	■利用者情報の提供、活動継続に向けての支援を適切に実施しました。
③利用者団体の会員募集支援など新たな愛好者の発掘等による利用者団体の活性化の実施	■利用者団体の会員の募集を支援。 チラシの配布範囲は横浜市内、県内近隣自治体の公共施設に配架。 久良岐能舞台の自主事業の際に募集チラシを配布。 施設内の掲示板に活動情報のチラシを掲示。	施設を定期利用する能楽団体等の会員の募集について HP に情報を掲載したり、主催事業の際に会員募集のチラシを配布したりしました。	■能楽等の定期利用団体の会員募集チラシを適切に配布、掲示しました。 約 10 名の方を各団体へ紹介することができました。

(4) 能楽等の技術研鑽・育成支援への取組

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①能楽等の伝統芸能のすそ野を広げる様々な市民向けの謡曲・仕舞・囃子講座等の実施	「久良岐能楽教室 謡・仕舞」(初級) 喜多流・金春流・宝生流 ■実施時期 6月から通年 □参加者数 各流 8名以上 □顧客満足度 90%以上 「久良岐能楽教室 謡・仕舞」(中級) 喜多流・金春流・宝生流 ■実施時期 4月から通年 □参加者数 各流 5名以上 □顧客満足度 90%以上 「久良岐能楽教室 囃子」 ■実施時期 7月から12月 □参加者数 8名以上 □顧客満足度 90%以上 「日本舞踊基礎教室」 ■実施時期 6月から通年 □参加者数 10名以上 □顧客満足度 90%以上	謡曲・仕舞・囃子・日本舞踊講座の実施 能楽愛好者一般及び久良岐能舞台を利用する能楽愛好者の高齢化による施設利用の低下傾向を受け、愛好者の若返りを図り、施設の活性化を増進する目的をもって、シテ方三流及び囃子方の講座を実施しました。 全国的にも例を見ない「通年型」の講座とし、水準の高い初級の愛好者を早期に育成する方針で運営しました。 [取組み] 「久良岐能舞台能楽講座」 「喜多流 謡・仕舞初級講座」 「金春流 謡・仕舞初級講座」 「宝生流 謡・仕舞初級講座」 「喜多流 謡・仕舞中級講座」 「金春流 謡・仕舞中級講座」 「宝生流 謡・仕舞中級講座」 「能楽囃子入門講座 笛・小鼓・大鼓・太鼓」 流派に関わらず、日本舞踊の基礎的な技術や表現法などを関連する知識とともに学ぶ、2年間のコースの講座としました。	□事業参加者 結果： 喜多流謡曲初級講座 開催回数 30回 受講者数 137名 喜多流謡曲中級講座 開催回数 36回 受講者数 113名 金春流謡曲初級講座 開催回数 30回 受講者数 49名 金春流謡曲中級講座 開催回数 36回 受講者数 213名 宝生流謡曲初級講座 開催回数 29回 受講者数 47名 宝生流謡曲中級講座 開催回数 32回 受講者数 241名 □謡・仕舞初級講座 開催回数 89回(年間) 受講者数 233名(年間) □同中級講座 開催回数 104回(年間) 受講者数 567名(年間) □囃子入門講座 開催回数 16回(年間) 受講者数 68名(年間) □日本舞踊基礎講座 開催回数 39回 □総受講者数 76名 □顧客満足度 100% 日本舞踊基礎教室は受講者数が目標に達しませんでした。 10月13日発表会参加者数16名・観客23名 3月24日発表会参加者数15名・観客30名 日本舞踊は市内にも多数の教室があり、受講希望者には多くの選択肢があります。今後はアプローチの方法を検討します。

②能楽等の経験者を対象とした講座の実施による、ステップアップのための指導体制の確立	「久良岐能楽教室 囃子合奏研究会」(上級) ■実施時期 通年毎月 1 回 ☐参加者数 12 名以上 ☐顧客満足度 90%以上	「囃子合奏研究会」能楽等の伝統芸能においては、師弟関係を基礎としてお稽古を重ねていきます。能楽の囃子では厳格にこのルールが守られており、久良岐能舞台において合奏研究会を実施するにあたっては、楽器ごとに講師をお願いする他、合奏指導を他の講師に担当していただくなどの徹底した分業体制をとることが必要となります。そのため、講師の調整が難しく、開催には至りませんでした。	左記理由により、開催なし。
③能楽等の講座受講者・愛好者等の活動発表の場を提供、積極的な担い手育成の実施	■久良岐能舞台で能楽等の伝統芸能を学ぶ講座受講生や愛好者に活動の成果を発表する場所として、久良岐まつりプレイベントなどを設定し、伝統芸能の積極的な担い手を育成する。	「久良岐能楽講座受講生研鑽会」及び「久良岐日本舞踊基礎講座受講生発表会」を実施しました。	久良岐能楽講座受講生研鑽会の実施 ■10 月 13 日 日本舞踊基礎講座受講生発表会 ☐参加者数 39 名 ☐顧客満足度 100% ■12 月 16 日 宝生流の研鑽会 ☐参加者数 45 名 ☐顧客満足度 100% ■12 月 22 日 金春流・囃子の研鑽会 ☐参加者数 30 名 ☐顧客満足度 100% ■1 月 13 日 喜多流の研鑽会 ☐参加者数 18 名 ☐顧客満足度 100%

(5) 能楽等と市民を結びつけるための情報提供及び広報・プロモーション活動の実施

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①WEB ページ等による施設案内、講座情報等の積極的な情報発信の実施	■施設 HP 上に施設案内情報、施設利用情報、自主事業情報等を掲載し、能楽等の伝統芸能に関心を持つ市民に様々な情報を提供。HP 上の掲載情報は常に最新の情報に更新し、情報を求める市民の関心に応えるように運営。 ☐HP アクセス 80,000 件/年 ■HP 掲載情報毎日更新	施設の HP を利用して施設の紹介、各種情報提供に努めました。	■HP の運営は適切に実施しました。 ☐年間 HP アクセス数 106,568 件 対前年度比 113.5% スタッフブログ花頭窓アクセス数(年間) 7,584 件 ■掲載情報更新 毎日実施

②紙資料、ICT 等を活用し、より身近に感じられるような広報・プロモーションの実施	■久良岐能舞台の運営に関する各種の広報を、チラシや HP への掲載、新聞等のマスメディアを通じた広報等、様々な方法を通じて市民の目に触れる機会の拡充を図り、身近に感じられるようにする。 また、ICT の進展に添ってより多くの通信系メディアによる情報アプローチにも応えられるように検討をする。	自主事業のチラシを市内及び近隣他市の文化施設・市区役所、公民館等に掲示を依頼、市内約 40 箇所の PR ボックスにチラシを配架しました。 その他公共掲示板や自治会等の掲示板に掲示を行いました。 自主事業情報を朝日新聞・神奈川新聞、フリーペーパー、タウン誌等にプレスリリースを行い、掲載に努めました。 コアな顧客層に対して年 5 回のダイレクトメールを送付しました。 スマートフォンの普及など情報アプローチ技術の変化に対応するため、久良岐能舞台の WEB サイトの再構築を検討してまいります。	□メディアへの情報提供 自主事業情報等を新聞、雑誌等に掲載 フリーペーパー 3 件 広報よこはま 5 件 TV 1 件 ヨコハマアートナビ 1 件 □自主事業等のチラシ配布配架 市民情報センター・区役所・市内外公共文化施設・地区センター等 173 箇所 JR・京急・市営地下鉄等 40 駅の PR ボックス 掲示板 36 箇所 合計 249 箇所 □DM 配信 年 5 回実施 配信数 4,951 通 □他施設の情報提供 伝統芸能関係 139 件 その他関係 426 件
③魅力的で訴求力があり、丁寧で分かりやすい情報提供の実施	■魅力的であると共に、丁寧で分かりやすい内容を併せ、訴求力のある情報提供を推進する。	情報提供に当たっては、伝えたい内容を丁寧に表現し、正確で分かりやすく、また視覚的にもつかみやすくするように努めました。	■魅力が感じられる HP の運用により、映画製作会社、CM 制作会社、映像コンテンツ制作会社等から数件の撮影利用の話がありました。
④人権侵害や個人情報漏洩等への適切な配慮	■広報・情報公開の推進に付随して、個人情報の漏洩や利用者、市民の人権を侵害することが無いように適切な運営管理を行う。	施設の運営や広報に関して、個人情報の取扱い、人権侵害の防止を前提に行い、問題の発生防止に努めました。	■利用者に関する情報、事業参加者に関する情報等、個人情報や人権に関する事項は適切に配慮し、運営を行いました。

(6) 能楽等に関する地域との連携、事業の実施

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①施設と地域の相乗効果を発揮し、能楽施設に親しみ、伝統芸能の楽しさを味わうための事業の実施	第12回久良岐まつり 地域市民・自治会・社会福祉協議会・利用者団体と協働により開催。 「李政美コンサート」 ■実施時期 10月22日 □参加者数 100名 □顧客満足度 90%以上 ■実施時期 10月21日、22日 □参加者数 2,000人以上	地域との連携を図り、地域の文化施設として伝統芸能の普及と振興に役立てることを目的とする「第12回久良岐まつり」を開催しました。 10月21日 能舞台：市民利用 10月22日 能舞台：韓国人歌手による歌とピアノ、ギター・マンドリンのコンサートを実施しました。(有料)	12回目の開催となり、地域に定着した行事になったが、庭園仮設舞台の出演者や販売する屋台での食事などで来場者数や参加者の満足度が変動する傾向が見られるので、今後対策を検討していきます。 能舞台催事 ■10月22日 □参加者数 61名 □顧客満足度 97% □アンケート回収率 76.7% 久良岐まつり参加者：1,500名
②市民協働の視点による、運営、清掃等のサポートスタッフの活用・発展等の実施	■市民協働の運営 公募による市民のボランティアスタッフをサポートスタッフと名付け、事業企画、運営、庭園清掃等の各分野において活用を推進する。	市民と共に久良岐能舞台を運営するという視点から、自主事業運営、庭園清掃の2分野に分けて協働を推進しました。	■サポートスタッフによる運営への協働実施 事業運営における協働の実施 ・自主事業実施時の参加者 1名 庭園清掃・剪定における協働の実施 ・参加者 16名
③本社のノウハウの横展開、他の古典芸能施設、市のお他施設・事業等との連携拡大に向けた取組	■他の施設等との連携 他の古典芸能施設や横浜市の事業等との連携に取組み、または検討を進める。	久良岐能舞台の特性を活かしつつ、より幅広い施設運営を探るため、市内の一部の施設と事業連携を企画しました。	■磯子公会堂で実施された狂言公演を後援した。また、近隣の杉田劇場においても、お互いの主催公演の際にはチラシを挟み込む等の連携を進めております。

2 運営について

(1) 能楽等の稽古、発表その他の活動への施設の提供に関する取組

[取組内容]	[達成指標] [実施内容] [達成状況]
①公共施設としての公平・公正かつ能舞台としての利用ルールの徹底等による適切な貸し出し業務の実施	横浜市の公共施設として、施設の利用や提供について公平・公正に運用すると共に、能舞台として求められる利用上のルールを広く利用者に徹底させるなど、能楽等の専門施設として適切な貸し出し業務を実施しました。

②開館時間・休館日、利用料金・減免等の適切な設定

■開館について

開館日数	3 4 7 日 開館しました。
開館時間	9 時～22 時 適切な開館時間を実施しました。

■適切な開館時間運営

夜間の利用が無い日については、ホームページにて周知の上、17 時閉館としました。

■年間休館日をホームページで公開

■庭園内門扉の適切な管理

久良岐公園に通ずる庭園内の門扉（山門）について、開館時間に合わせた開閉を適切に実施しました。天候の状況により危険が予測される場合、南部公園緑地事務所に連絡の上、開閉管理を実施しました。

■施設稼働率

30 年度年間稼働状況 38.3%

新規利用のお客様が増加し、リピートして利用いただいているので、稼働率はわずかにアップしている。しかし、平日の午前・土曜日の夜間については稼働率が低いので、対策を検討する必要があると考えております。

■利用料金

横浜市能楽堂条例に定められた利用料金により実施しました。

■利用料金減免

磯子区文化協会 5 件（1/2 減免）
久良岐能舞台自主事業 82 件（2/2 減免）

③支払方法等の利用者サービスの向上による利用促進の実施

■高齢者や遠隔の利用者等から要望があった利用申請の手続きについて、郵送による申請及び現金書留による支払を可能にし、利用者サービスの向上と利用者拡大を図りました。今後、HP から申請できるようなシステムや振り込みによる支払いを可能とする等の取り組みも検討してまいります。

④利用率の適切な目標指標設定

利用率向上対策の結果、和室・茶室については目標を上回ることができました。

	目標値	達成値	※すべてコマ単位
□能舞台	52%	52.3%	
□和室	40%	39.8%	
□茶室	12%	22.3%	

平日の午前区分の稼働率が極めて低くなっております。学校や仕事をしていない主婦や高齢者をターゲットとし、利用率向上の方策を検討いたします。

■利用者の増加に向けた戦略的営業の推進

能舞台、和室、茶室等の機能に適していると思われる施設近隣区で活動している愛好者団体・グループに働きかけをし、今後の利用に向けた施設見学のご来館を促しました。その結果、24 団体の新規利用を獲得した。

⑤諸室の機能ごとに戦略的営業を展開し、新規利用者の増加に向けた取組

(2) 利用促進・利用者サービスの向上への取組及びアイデア・ノウハウの活用等

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①運営会議等による P D C A サイクルの確立	事業推進における P D C A サイクルの的確な運用 ■ 毎月の運営会議において問題点の改善討議と方針策定、実施。 ■ 次年度事業計画への反映。	月次運営会議において問題点の提起と改善検討及び方策等を策定しました。	■ 1) 自主事業公演等の際の高齢参加者・車いす利用者への対応を実施しました。（椅子の配慮等） 2) 靴の取り違えがないよう、番号札を配布しました。

②利用者アンケート、利用者との会議等による利用者ニーズの適切な把握、PDCAサイクルの実施 ③苦情・要望等への適切な対応、改善に向けた取組の実施 ④利用推進に向けた、未利用枠と潜在的利用者のマッチング営業等の実施 ⑤施設見学希望者への積極的な対応、利用者への配慮の実施	利用者ニーズの適切な把握とPDCAサイクルの実施 ■アンケート回収後、翌日集計、職員等の関係者への回覧実施 ■事業終了後 2 週間以内の事業報告書作成と関係職員への回覧 ■直ちに実施できる改善点はすぐに実施 ■利用者・見学者等からの要望や苦情は直ちに主任、館長に報告、対応。月次の運営会議やモニタリングにて報告、討議し、職員全員で共有。 ■未利用枠の利用促進に向けて、潜在顧客の掘り起こしとなる提案営業やお試し会などの戦略的な営業を進める。 ■施設見学希望の市民には利用者の迷惑にならない範囲で全職員が積極的に対応。 □来館者数 20,000 人以上/年	施設の利用者アンケート調査によりニーズを把握しました。 PDCAの一環として利用者・見学者等からの要望や苦情は速やかに対応しました。 未利用枠の利用促進に向けた潜在顧客への営業戦略の検討と対策を進めてまいりました。 能舞台見学の団体が増加し、全職員が積極的に丁寧に対応しました。	3) 早くご来館された方への配慮として、入場整理券を配布しました。 ■改善点を次年度に反映させます。 ■自主事業及び貸館利用者を対象としたアンケートを実施し、頂いたご意見を可能な限り運営に反映させました。 ■自主事業のアンケートで頂くご意見としては、椅子の配置が良くなく、舞台が見えにくい。カメラのシャッター音が気になるというご意見をいただきました。椅子の配置についても高さを考えながら配置する等の対策を行い、シャッター音については、音の大きいシーンでタイミングを見計らって撮影する等の対策を行いました。 ■横浜市の公共施設・自治会・町内会・連合自治会・その他施設・団体等に適宜訪問、施設案内・販促を実施しました。 □来館者数 17,858 名 対前年比 117.1% 新規顧客が増加してきているが、目標には届かず。
--	---	---	--

⑥施設内覧会等の実施による新規利用者の獲得に向けた取組	■久良岐能舞台の更なる市民の認知を促し、新たな利用者の獲得のために施設の案内・内覧会の実施を検討。	施設利用の問い合わせに対し、積極的な案内を実施しました。	■新規利用団体が 24 団体増加しました。
⑦未利用枠の有効活用に向けた積極的な営業活動の実施	■午前などの未利用枠が多い時間帯について、潜在的な顧客に対し、適切な提案をするなどの戦略的な営業活動を行う。	未利用枠の活用を図るため、初めて施設を利用する団体に丁寧な説明を行う他、近隣施設や町内会で施設の案内を行いました。	■中々成果に結びつかず、特に平日の午前区分はまだ利用が少ないままです。未利用枠を埋めていく方策を今後も検討してまいります。

(3) 組織運営の構造、組織的な施設運営

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①現場運営に最適な現場管理の実施	■施設管理運営にとどまらず、能楽等の専門施設として必要な知見と実行、庭園にも知識を持ち注意深く管理を遂行。	能楽等の知識を得るための研修を実施したり、庭園の管理についても南部公園緑地事務所と連携を図りながら適切な管理を行うよう努めました。	■職員は近隣の能楽堂にて能を鑑賞したり、自主事業で講師をお願いしている講師に能楽についての知識を学びました。また、庭園についても南部公園緑地事務所と連携しながら倒木の恐れがある木は早めに伐採する等、庭園の維持管理についても適切に実施しました。
②適切な人員の配置・職能	■人材の配置 館長 1名 主任 1名 職員 5名 企画管理担当職員 1名	適切な人員配置で実施しました。	■人材の配置実績 館長 1名 主任 1名 職員 5名 管理担当職員 1名
③積極的かつ適切な職員育成の実施	■専門施設に相応しい職員育成のため、理解の促進や他施設での能楽研修を実施。	能楽等の伝統芸能に関する理解促進のため、首都圏の能楽堂で研修を実施しました。	■現場担当の全職員に研修を実施しました。

④アドバイザーの配置・活用	■能楽、日本舞踊・邦楽、古典芸能全般それぞれの分野の専門アドバイザーの導入による水準維持。	能楽講座講師等にご意見を伺いながら、運営に反映するよう努めました。	■能楽や日本舞踊等の講座でお越しいただいている各講師にご意見を伺い、専門家のご意見・アドバイスを運営に反映するよう努めてまいりました。
⑤市民ボランティアの配置・活用	■事業企画、運営、庭園清掃等の各分野におけるボランティアスタッフの導入。	自主事業実施、庭園清掃の2分野にボランティアスタッフ導入。 市民協働の安定的な推進のため、ボランティア保険を全員に付保しました。	■自主事業運営、美観維持庭園清掃各業務スタッフに市民ボランティアスタッフを実施しました。 平成31年3月末現在のボランティアスタッフ登録は12名です。

(4) 本市の重要政策を踏まえた取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①個人情報保護についての取組	■コンプライアンスの遵守と個人情報保護の徹底。 社内の個人情報保護規定に則り、利用者や事業参加者の個人情報を適切に取り扱う。 □年1回の社内個人情報保護研修に基づき、確実な個人情報保護を実践する。	社内規定及び横浜市の方針に基づく個人情報保護及びコンプライアンスの遵守に関する研修を実施しました。	■個人情報保護及びコンプライアンスの遵守に関する研修を適切に実施しました。 □2月25日実施 全職員参加
②情報公開についての取組	■管理運営に関する文書、図面、写真等の情報を原則的に開示することとし、能楽等の伝統芸能の普及と進行活動への市民の理解と信頼及び積極的な参加を促進する。 ・各年度の業務計画書、各年度の業務報告書、各年度の休館日一覧表は、ホームページで公開する 他、請求があった場合は事務所窓口において開示。 ・施設の利用状況、貸出に関する情報はホームページに当該月の6ヶ月先まで公開することとし、開示請求は、事務所窓口で対応する。 ・その他の開示請求は文化振興課と協議のうえ対応。	■管理運営に関する文書、施設の利用状況、貸出に関する情報等を、ホームページに掲載しました。	■ホームページの年間閲覧件数 106,568件 前年度比 113.5% 文書等の開示請求はありませんでした。

③人権尊重についての取組	□人権尊重の基本的な考え方・法令を遵守し、適正な管理業務の遂行・公平・公正な管理業務を行うこととし、特定のものに有利、不利な取扱いはしない・利用者の意思及び人権を尊重し、常にその立場に立ってサービスを提供。	・コンプライアンスを遵守しました。 ・公平・公正な管理業務を実施しました。 ・利用者の意思の尊重、人権の配慮、利用者の立場に立ったサービスの提供を行いました。	■人権尊重に関して全職員に研修を実施しました。 □3/28 実施。
④環境への配慮に関する取組	■公園内はもとより、門前周辺の道路も含め美観維持のため以下の対策を推進。 ・庭園内及び門前周囲の清掃 ・環境上の問題点を発見した場合、南部公園緑地事務所と協議し、対応を依頼 ・樹木の繁茂し過ぎは周囲の植物の病気、衰弱の元になり南部公園緑地事務所の対応を望む ・門前の樹木の成長に伴い、近隣の家屋の軒先まで枝が伸びる。良好な環境維持のため、南部公園緑地事務所の対応を望む	久良岐能舞台は久良岐公園の一角の緑豊かな広い敷地と施設が一体となりその魅力を形成しているため、庭園内はもとより、門前周辺の道路を含めて清掃等の美観維持が大切だと考えております。施設内街の美観を維持するため、毎日、庭園内及び門前周辺の清掃を実施しました。環境維持上の問題点を発見した場合や樹木等の状況に問題が見られる場合は、南部公園緑地事務所に対応を要請しました。	■環境維持に関する取り組みを適切に実施しました。 ■庭園内、門前周辺の美観維持のための清掃を毎日実施しました。 ■庭園内で樹木の倒壊や危険が予測された場合、南部公園緑地事務所と協議・対応を要請し、実施されました。
⑤市内中小企業優先発注についての取組	■委託、購入共に横浜市内中小企業に優先的に発注する。	■施設の維持点検に掛かる業務、保守修繕にかかる業務を市内の中小企業に委託しました。	■市内中小企業優先発注に関する取組は適切に実施しました。
⑥その他（追加） 観光M I C E 振興につながる取組	■来日外国人へも能楽等の伝統芸能の鑑賞の機会の提供。	■来日外国人への伝統芸能鑑賞機会を提供しました。	■第7回アフリカ開発会議関連事業として「ガーナ伝統音楽&舞踊」を実施しました。装束展や能公演ではパネルやハンドブックに英語表記を取り入れ、楽しんでいただけるよう工夫しました。

(5) その他施設運営に関する事項

〔取組内容〕	〔達成指標〕	〔実施内容〕	〔達成状況〕
能楽等の伝統芸能に関する次世代の育成につながる	■横浜市中期4ヶ年計画の課題「子ども達や新進	小中学校に対する教育支援事業として実施しまし	■「次世代の育成は子ども達から」をキーワード

る取組の実施	アーティストの育成など、次世代育成の取組の充実」に対し、地域の子ども達を中心とする、能楽等の伝統芸能に関わる次世代の育成に取り組む事業を推進し、今まで以上に地域との連携を深め、市民の参加を進める。	た。 ・「小学校向け狂言鑑賞教室」(前掲) 10 年継続事業 ・「横浜市芸術文化教育プラットフォーム 伝統芸能部門コーディネーター」として、狂言鑑賞教室アウトリーチの実施(前掲) 7 年継続事業 ・近隣小学校の 2 年生を対象とした能楽講座を実施	に実施しました。 長期間に亘って実施することで、着実に次世代に受け繋がれるという理念の元で、今後も教育支援事業を継続します。
--------	--	--	---

3 施設管理について

(1) 施設・設備の維持保全及び管理

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①施設・設備・備品等の維持管理・保全業務の実施	■湿度が高く、木造家屋の保全には厳しい環境であり腐食が進みやすい。落葉や小枝が屋根の堆積し、雨漏りの要因になる。基準に従い適切な業務を実施。	谷戸地形の中にあり、両側を池に挟まれた環境は木造家屋に厳しい環境です。1 年を通して細かな監視点検を実施し、施設の維持管理、保全をはかりました。	■施設・設備・備品等の維持管理・保全業務は適切に実施しました。 施設巡回保守点検 4 回 4/16、7/9、10/15、1/21 女性トイレタンク修繕 2/14
②庭園等の周辺環境の維持管理・保全業務の実施	■衰弱老化した樹木、日当たり悪化に立ち枯れ等弱った樹木が多く、美観維持、危険除去のため南部公園緑地事務所と緊密な連携を行い、快適な環境を保全。	巨大化した樹木により下部に陽が当たらなくなるなどのため、樹木の伐採、剪定を南部公園緑地事務所に要請し、実施されました。	■庭園等の周辺環境の維持管理・保全業務は適切に実施されました。 竹林整備、落葉堆積物除去、上・下池浚渫、老朽化・危険樹木等伐採、剪定、庭園刈込み、石段補修、庭園毎日清掃。
③警備・安全管理業務の実施	■敷地全体の防犯と安全管理を実施、見回りの実施、犯罪や火災等への警戒と事故などの未然防止活動を行う。	多くの来館者、庭園散策の市民等の安全を確保するため、見回りの実施により犯罪や火災の警戒と予防に努めました。	■警備・安全管理業務は適切に実施しました。 ・見回り: 日中 適宜実施 夜間 1 時間毎実施
④専門的な見地に基づく能舞台、能装束等所蔵品の管理実施	■能舞台の管理基準目視点検管理を中心に実施し、異常が見られた場合は専門業者へ相談し、市担当者へ報告。 ■能舞台の日常点検を実施。 能装束等所蔵品に管理	能舞台の管理は職員による毎日清掃時及び舞台利用毎に目視点検を中心に実施しました。 収蔵室内の湿度管理、収蔵箆筒内の除湿、防虫に特に注意し、適切な管理を行いました。	■能舞台、能装束は適切に管理を実施しました。 ■能舞台は毎日清掃時及び毎利用後に点検を行い、異常の有無、使用上の適否を観察しました。 ■能装束を保管している鏡の間の湿度を管理する

	所蔵されている能装束は年に１度、虫干しを兼ねた能装束展を実施し、能装束や伝統文化の普及に繋げる。 能装束は専門家に意見を仰ぎながら適切な管理を行う。 □年に１度、装束の虫干しの際、防虫剤の交換	９月第１土曜日に、所蔵能装束公開展示を行い、さらに装束の説明パネルを設置することで、伝統文化の普及啓発に努めました。	ため、除湿機を常時稼働させました。 □保管の和箆筒内の水取り剤、防虫剤を適宜交換しました。 ■９月１日 所蔵能装束公開展示のため準備 ９月２日 所蔵能装束公開展示 ９月３日 装束点検、収納
--	---	---	---

(2) 小破修繕への取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①日常点検による、きめ細やかな施設管理に基づく予防保全の実施	■変化が見られる場合はより詳しく点検を行い、その状況に応じた対応を行う。	毎日の清掃時に各部分の目視点検を行い、変化が見られる場合はより詳しく点検を行い、状況に応じた対応を行いました。	■日常点検に基づく予防保全を適切に実施しました。
②施設長寿命化の観点に基づく施設管理の実施	■湿度が高く、建具、舞台階等の不具合に対し、随時適切な対応と処置を行う。	梅雨時等、平均的に湿度が高い時期は構造、建具等が膨らみ、不具合がおきやすくなりますので、随時適切な対応をしました。	■施設の各所で湿度による腐食や膨張が発生し、扉や間仕切り、舞台の階（きざはし）が浮き上がるなどの現象が起きることがあります。施設の長寿命化の観点から一部を使用見合わせにしたり、施設利用に支障が起きないように、対処をしました。
③迅速かつ臨機応変な施設管理・修繕対応の実施	■不具合、破損が発見された場合、状態に応じた臨機応変な対応をとり、適切で迅速に対応する。	不具合や破損が発見された場合、利用者の妨げにならないよう迅速かつ適切な対処をしました。	■適切に対応しました。
④小破修繕の適切な実施	■小破修繕が必要な場合、職員による対応が可能な状態以外は専門業者に委託する。	職員が修繕に対応可能な場合以外、市内の業者から見積を徴収し、最低価格の業者に委託しました。すでに設置されている設備等の場合、同一製造者の代理店を基本としています。	■トイレ洗浄水量調整、障子紙破損等の場合は職員が対応するようにいたしました。 自分達では対処できないものについては専門会社に依頼し、適切に修繕を行いました。

(3) 事故防止体制・緊急時（防犯）の対応・感染症対策等衛生管理

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①庭園内の安全管理、火災予防の実施、危機管理対策 ②危機管理マニュアルの整備と非常時対策訓練の実施	■施設と庭園の安全管理 成長した樹木の多い庭園と純木造の建物による施設のため、安全管理を確実に実施する。火災予防は最も注意を要する点であり、全体的な観点から安全管理と危機管理を実施する。 ■災害予測に基づく対応マニュアルの整備と対策・訓練の実施。 ・事故の未然防止 施設内及び庭園における事故発生を未然に防止するため、危険箇所の早期発見、危機発生の可能性を日常的に点検、対処 ・危機管理マニュアルに基づく訓練の実施 □年2回	・安全管理 庭園内には老化した樹木や警戒を要する枝、降雨時の滑りやすい階段や斜面があり、事故が発生しないよう、安全のための予防措置を行いました。 ・火災予防 庭園内における火気防止及び施設内における生火の防止を徹底しました。 ・危機管理対策 災害の予測に基づく対応・対策・訓練を実施しました。 横浜市災害対策に基づき、大規模な地震や風水害、火災等が発生した場合の危機管理マニュアルの整備を推進し、庭園・施設内における事故の未然防止に力点を置いて非常時の対応訓練を行いました。	■安全管理・火災予防・危機管理を適切に実施しました。 7/9 磯子消防署指導による防災訓練 AED 取扱い訓練 8/28 シェイクアウト訓練 10/15 火災受信機操作訓練、消火訓練 1/21 火災受信機操作訓練、消火訓練 ■磯子消防署の指導を受け、イベント開催時などを想定して防災訓練を実施しました。 また、警備会社指導による消火・防災訓練を実施しました。 □7/9、8/28、10/15、1/21実施
③緊急時（事故・犯罪の発生時）の対応方針、対策	■緊急時の対応 緊急事態が発生した場合、直ちに必要な措置をとると共に、文化振興課を含む関係者に対して緊急事態発生の通報をし、市と協力してその原因調査にあたる。	事件、事故や災害が発生した場合は必要な措置をとると共に、文化振興課や関係者に連絡し、対応に当たります。	■防災訓練において対応措置の実施訓練を行いました。
④感染症対策等の衛生管理の実施	■感染症等のリスクを軽減するため、以下の方策を実施。 ・玄関の分かりやすいところに消毒薬を配置する ・新型インフルエンザ、感染症胃腸炎（ノロウイルス）等の感染症や拡大を防ぐ目的で、保健所の指導のもと対応マニュアルを整備 ・汚物（嘔吐物や糞便）については、適正な方法で	感染症等のリスク軽減のため、消毒薬の配置を実施しました。 汚物等は適正な方法で処理しました。 死亡した鳥や動物がある場合は適正な対処のうえ、資源循環局に対応を相談しました。	■感染症対策等の衛生管理は適切に実施しました。 ・玄関入ってすぐの待合室に消毒薬を配置。 ・鳥の屍骸を発見した際は、資源循環局に報告し、専門業者に処理を委託しました。

	消毒、処理する ・死亡した鳥や動物を発見した場合、来館者や職員が直接触れないよう、資源循環局に対応方法を相談する		
--	---	--	--

(4) 防災に対する取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①緊急時の連絡体制・役割分担（職員体制）	■緊急時連絡と役割分担の確立。	久良岐能舞台緊急連絡網を作成し、文化振興課に報告すると共に、全職員に周知しました。	■緊急時の連絡体制は適切に実施しました。
②自衛消防組織の結成、平常時の消火・防災対策	■自衛消防組織と平時の消火・防災対策。 □年2回、定期的に消防、防災訓練を実施。	久良岐能舞台の職員数は少人数であるため、全員が消火・避難・連絡に当たれるようにしました。	■自衛消防組織は適切に実施しました。 消火・防災訓練（前掲）
③災害発生時の取組、施設状況の把握	■緊急事態が発生した場合、直ちに消防署等に連絡、文化振興課を含む関係者に連絡し、状況の把握と必要な措置の実施。	災害発生時の連絡、状況把握等について、必要な対応がとれるよう訓練を実施しました。（前掲・防災訓練）	■災害発生時の対応について適切に実施しました。 □7/9、8/28、10/15、1/21
④災害時等の市への協力	■災害が発生した場合、市に協力しその原因調査にあたる。 ・大規模な災害が発生し、行政機関において災害対策本部等が設置された場合、その指示に従うと共に、行政機関と協力して災害対応に協力する。	異常気象、地震、火災等の場合、規模に関わらず文化振興課に報告しました。 防災訓練において防災伝言ダイヤルに連絡報告しました。	■災害発生時の連絡、状況把握等について、必要な対応がとれるよう訓練を実施しました。

(5) その他施設管理に関する事項

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
光熱水費削減努力	施設稼働率上昇に伴う光熱水費の増加抑制。 □光熱水費 年間 150 万円	施設の利用が無い部分は原則として消灯、空調機停止などにより経費節減を実施しました。	□光熱水費 1,538,590 円 前年度比 +9.8% 稼働率の上昇と竹灯籠の点灯により、目標を達成することができなかった。

4 収支について

(1) 適切な収支構造及び収支バランスについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①収支構造の検証	■能楽等の伝統芸能愛好者の高齢化による利用団体減少への対策を図る 貸館収入の向上に向けた対策を図る 伝統芸能愛好者の育成に掛かる費用の負担軽減対策を図る。	利用団体の減少が貸館収入の減少に繋がるため、減少を補う新たな利用者を発掘します。 伝統芸能愛好者の育成に掛かる費用負担の軽減のため、新規の受講者の増加を図ります。	■利用料収入は前年度に比べると増加しましたが、予算額を達成することはできませんでした。 利用料収入 4,539,000 円 対前年比 103.2% ・伝統芸能の利用者団体が高齢化により減少傾向にあるので、それを補完する新たな利用者団体（写真撮影等）の利用促進を図った結果、利用料金の増収につながりました。 新規利用団体 24 団体 ・伝統芸能愛好者の育成に要する費用は講座在籍者が増加した結果、前年度に比べ改善することができました。 当期講座収支実績 △579,500 円 前年度比 72.8%
②予算・決算、収入・支出のバランス	■予算は守るべきガイドラインとして、毎月の月次決算において確認し、四半期毎、半期毎で収支バランスが適切であるように運営する。	予算の実施に当たってはできる限り費用抑制に努め、全体として収支の均衡に努めました。	■予算/決算、収入/支出のバランスは、職員の給料アップ、消耗品費の増加、自主事業費用の増加等によりバランスを保てていないものがいくつかあり、見直しが必要と考えております。
③自主事業収支の適切なバランス	■個別の自主事業毎に適切な収支計画をたて、自主事業全体として確実な実行をする。 事業には予想外の結果もあるため、全体としてカバー可能な収支計画を目指す。	久良岐能舞台は低い知名度と交通が不便と云うリスクを持っているため、多くの事業で望ましい収支バランスを確保することが難しい。そのため極力経費を抑制して事業を実施し、収支のバランスに近づける努力をしました。	■久良岐能舞台としてなすべき事業及び望まれている事業を中心に実施しました。 伝統芸能のほかにもコンサートやパフォーマンスを実施しましたが、まだまだ集客力が弱く、事業全体として改善を図る必要性が認識されました。 自主事業全体収支実績 △3,095,676 円 前年度比 152.2%

(2) 指定管理料のみに依存しない収入構造

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①指定管理料以外での収入確保に向けた構造づくり	■指定管理料以外の主要な収入は施設利用料と自主事業参加料であり、施設利用では諸室別では利用が低い部分があり、改善の余地がある。 自主事業では講座の収入が低調であり、改善が必要。	施設の周知向上を目指す広報戦略を実施しました。 自主事業収入の落ち込みを改善するため、事業毎に改善対策をおこないました。	■施設の周知を図る広報の成果が得られました。 新規利用団体 24 団体増 自主事業では広報の方法を検討し、対象を絞った効率的な広報活動と広く周知させる広報を使い分けて実施したところ、初めて来館されるお客様が増えました。
②戦略的かつ積極的な貸館収益の増加に向けた取組	■諸室別の未利用枠の稼働を目標に、付加価値のある貸館営業を潜在顧客に向けて多様な戦略的営業として展開し、貸館収益の向上を図る。	伝統芸能にとらわれず、能楽や茶室など和の施設特性に適する新規の利用者にも営業的に働きかけ、貸館収益の向上を図りました。	■婚礼写真前撮りや Web ビデオ等の撮影、CM 撮影等、多様な利用者を獲得しました。
③マーケティングを活用した事業推進による自主事業収入増加に向けた取組	■自主事業アンケート及び利用者に関するデータベースの分析で得られる情報により、選択的に事業収入の増加に寄与する取組を推進。	自主事業アンケートから得られる情報は、より自由で幅広い種類の事業が望まれており、久良岐能舞台の施設特性とのすり合わせにより事業に反映させ得る企画の推進を進めました。	■為すべき事が多く、既存の自主事業企画の再構築を進める必要があると考え、反映させることのできる事業に関しては、企画の検討を実施してまいります。
④企業協賛、助成金の活用によるファンドレイジングの実施	■自主事業に対する地域の企業等の協賛を開発し、事業収益の改善を図る。芸術文化振興基金、地域創造等の助成金を獲得するように企画し、事業が推進しやすい資金環境の整備に努める。	早い段階で申し込まなくてはならず、事業内容が固まっておらず、助成金を獲得することができませんでした。	助成金を獲得したい事業をピックアップして早めに事業を固めるように心がけてまいります。

(3) 経費削減等効率的運営の努力

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①「選択と集中」による運営経費の抑制と利用者ニーズへの対応	■施設運営に関する諸データから見る傾向及び利用者に関するニーズの傾向から、特徴的なニーズの推進及び、施設の使命としてなすべき事業を中心に運営経費の選択と	久良岐能舞台でお稽古を重ねてきた能楽等の伝統芸能の愛好者が高齢化のため急速に減少してきた事態に対応が必要となっています。そのため、中心的自主事業として能楽等	■選択と集中による運営経費の抑制と利用者ニーズへの対応は適切に実施しました。

②自己点検・評価による効率的運営の実施	集中を図る。 ■自己評価体制による業務の自己評価の実施。	の講座の運営を選択し、施設の使命として運営を進めました。 自主事業全体の約4割もの費用を集中し、次世代の伝統芸能愛好者の育成を図っています。 利用者アンケート、事業参加者アンケート等をもとに職員全員で自己評価と点検を実施し、課題については改善するよう努めました。 日常的運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティングを通じて検討し、直ちに改善を実行しました。	■自己点検・評価による効率的運営の実施は適切に実施しました。
----------------------------	--	--	---------------------------------------

5 PDCAサイクルの確実な運用

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
・日報及び月間業務報告書の作成・管理	業務日報、業務月報による業務記録の整備 業務日報、施設利用記録簿による業務の記録を確実に実施する。業務日報から業務月報を作成し、適切な業務記録の管理を実施する。 ■業務記録の適切な管理。	業務日報、施設利用記録は毎日確実に記録しました。 業務月報は毎月、確実に作成しました。 業務記録は適切に管理しました。	■業務記録の整備、管理は適切に実施しました。
・業務計画書及び業務報告書の作成・管理	適切な業務計画、業務報告の実施 施設の設置目的に即した業務計画を作成し、年間を通じて達成指標を意識した施設運営を行う。業務報告書を作成し、市への報告を適切に実施する。 ■業務計画書及び業務報告書の作成・提出の実施。	適切な業務計画を作成し、達成指標を意識した施設運営を行いました。 業務計画書、業務報告書の作成、提出を行いました。	■業務計画書及び業務報告書は適切に作成し、提出しました。
・業務評価（モニタリング、自己評価）	■モニタリングへの対応体制の整備 自主事業毎に参加者への	モニタリングへの対応は主任を中心に全職員で実施しました。	■業務評価は適切に実施しました。

	アンケート方式によるモニタリングを実施する体制を維持する 各種の業務記録、アンケート等によるモニタリングを適切かつ確実に実施する 自己評価システムによる業務の自己評価の実施 利用者アンケート、事業参加者アンケート及び自主事業毎の事業報告書による自己評価と点検により改善を早める ①アンケート回収後、翌日集計、職員等の関係者への回覧実施 ②直ちに実施できる改善点はすぐに実施	自主事業の参加者アンケートは毎回確実に実施しました。 各種の業務記録は適切かつ確実に実施しました。 業務の自己評価を実施しました。 アンケートの回収、集計、回覧等は確実に実施しました。 直ちに改善できる事項はすぐに実施しました。	
--	--	---	--

6 留意事項

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
・ 保険及び損害賠償の取扱	■施設賠償責任保険の加入と損害賠償の対応。 ① 1事故 5億円 ② 1名 1億円 ③財物 1,000万円 ④使用不能 500万円 ⑤人権侵害 100万円 ⑥動産総合保険 30万円 被災者対応費用 500万円	施設賠償責任保険への継続加入を実施し、損害発生時には適切に対応します。	■保険及び施設賠償責任保険の加入は適切に実施しました。
・ 関係法令等の遵守	■コンプライアンスの遵守と個人情報保護の徹底。 社内の個人情報保護規定に則り、利用者や事業参加者などの個人情報を適切に取扱う。 □年 1 回の社内個人情報研修に基づき、確実な個人情報保護を実践する。	コンプライアンスの遵守と個人情報保護の徹底のため、毎年 1 回、研修を実施しました。 社内の個人情報保護規定に則り、利用者や事業参加者などの個人情報を適切に取扱います。	■コンプライアンスの遵守及び個人情報の保護は適切に実施されました。 □2/25 個人情報研修実施 3/28 人権研修実施
・ 市及び関係機関との連絡調整	■関係機関との定期的な連絡調整の実施。 □毎月 1 回 市との定期的なモニタリング実施及び運営会議の開催。	文化振興課とのモニタリングは毎月実施されました。 運営会議は毎月実施されました。	■関係機関との定期的な連絡調整は適切に実施されました。
・ 近隣対策の実施	■施設近隣の清掃実施。 必要に応じた近隣への案内実施。 庭園内樹木の落葉が近隣住宅敷地内に侵入しないように道路を含めた清掃を実施する。 近隣に迷惑が及ぶ可能性がある工事や催事が生じた場合には、市の担当部局及び関連実施事業者とともに事前に近隣住民へ案内を行い、近隣対策に対応する。	雨天強風以外の毎日、近隣道路等の清掃を実施しました。 大がかりな工事等はありませんでした。	■落葉等の清掃は毎日実施し、近隣への配慮は適切に実施しました。
・ その他	■名札の着用を常時実施 施設職員として適切な服装を心掛け、利用者が相談や声をかけやすいように常時名札を着用する。	業務上、名札の着用が困難な場合を除き、原則として常時名札を着用しました。	■名札の常時着用は適切に実施しました。

久良岐能舞台 平成 30 年度 事業一覧

1 能楽等を知り、親しみ、体験することができる機会の提供

No	実施時期	主催／共催	事業名	会場	事業内容	入場見込	事業回数	入場実績	事業回数実績
1	4月	主催	KURAKI スペシャルライブ 項目IV-1-(3)-③	久良岐 能舞台 (能舞)	パーカッション・横笛・ 歌による音楽ライブ。久 良岐の名前を前面に PR した。	80 人	1 回	97 人	1 回
2	4月	主催	日本舞踊 トーク&パフォーマンス 項目IV-1-(1)-①	同上	ゼロから始める日本舞 踊基礎教室の導入事業。	50 人	1 回	37 人	1 回
3	5月	主催	能楽ワークショップ 項目IV-1-(1)-①	同上	能楽講座受講生募集の ためのワークショップ として実施。	40 人	1 回	31 人	1 回
4	7月	主催	サキの國 項目IV-1-(3)-③	同上	地元在住能楽師とヨー ロッパで活躍している 日本人アーティストの コラボ。	80 人	1 回	140 人	1 回
5	9月	主催	ガーナ伝統舞踊 &音楽	同上	計画にはなかったが、 「第 7 回アフリカ開発 会議」関連事業として実 施。ガーナの文化を体験 してもらった。	—	—	55 人	1 回
6	9月	主催	所蔵能装束公開展示 項目IV-1-(1)-②	同上	所蔵能装束の虫干しを 兼ねた展示と囃子の演 奏会を実施。	50 人	1 回	138 人	1 回

7	10月	主催	久良岐まつり 能舞台イベント 項目IV-4-(1)-⑤	同上	韓国人歌手による歌と ピアノ、ギター・マンド リンのコンサート	100人	1回	61人	1回
8	12月	主催	久良岐ワールド 項目IV-1-(1)-③	同上	紅葉の季節に舞台・庭園 を利用した茶会・コンサ ート・写真撮影等、心地 よい時間の演出。	50人	1回	79人	1回
9	1月	主催	能の魅力発信プロジェクト 能 葵上を知る 項目IV-1-(1)-④	同上	1月に開催する能の公 演に先立ち、研究者と能 のシテにより行うワー クショップ。	40人	1回	40人	1回
10	1月	主催	能の魅力発信プロジェクト 能 葵上 項目IV-1-(1)-③	同上	要望が多い能の公演を 開催。 今回は喜多流による葵 上等を上演。	100人	1回	102人	1回
11	2月	主催	第11回久良岐狂言会 項目IV-1-(1)-③	同上	毎年定期開催の狂言会。 狂言3番、小舞1番を解 説付きで実施。	100人	1回	117人	1回
12	2月	主催	竹灯籠まつり 項目IV-1-(1)-①	同上	竹灯籠完成記念として 実施。竹灯籠を見なが ら寛いでいただける空間 を提供し、更に歌や演 奏、パフォーマンスを披 露。	年度途中で 実施		90名	1回

2 子どもたちへの文化芸術へ触れる機会の提供、能楽等の継承のための取組

No	実施 時期	主催 ／ 共催	事業名	会場	事業内容	入場 見込	事業 回数	入場 実績	事業 回数 実績
----	----------	---------------	-----	----	------	----------	----------	----------	----------------

1	11 月	主催	小学校向け 狂言鑑賞教室 項目Ⅳ-1-(2)-①	久良岐 能舞台 (能舞台)	能楽と子どもをつな ぐ教育支援事業。近 隣3区の小学校6年 生を学校単位で招 待。	1,200 人	9 回	1,358 人	9 回
2	9～ 12 月	受託	横浜市芸術文化教育 プラットフォーム 項目Ⅳ-1-(2)-②	小学校	伝統芸能のコーデ イナーとして、小 学校向け狂言鑑賞教 室のアウトリーチ。	5 校	5 回	5 校 458 人	5 回

3 能楽等の稽古、発表その他の活動支援の取組

No	実施 時期	主催 ／ 共催	事業名	会場	事業内容	入場 見込	事業 回数	入場 実績	事業 回数 実績
1	6 月 ～	主催	久良岐能楽教室 謡・仕舞（初級） 項目Ⅳ-1-(4)-①	久良岐 能舞台 (能舞台)	喜多流・宝生流・金春 流の指導者として各 流の能楽師を迎えま す。	各流 5 人	各流 36 回	延べ 233 人	延べ 89 回
2	4 月 ～	主催	久良岐能楽教室 謡・仕舞（中級） 項目Ⅳ-1-(4)-①	同上	同上	各流 1～3 人	各流 36 回	延べ 567 人	延べ 104 回
3	6 月 ～ 9 月	主催	久良岐能楽教室 囃子 項目Ⅳ-1-(4)-①	同上	笛・小鼓・大鼓・太鼓 の各囃子方能楽師を 指導者に迎えます。	10 人	15 回	延べ 68 人	16 回
4	4 月 ～	共催	能楽囃子合奏研究会 （上級） 項目Ⅳ-1-(4)-②	同上	同上	10 人	12 回	諸事情により 開催なし	

5	5月～	主催	日本舞踊基礎教室 項目Ⅳ-1-(4)-①	同上	日本舞踊の教師の資格を有する日本舞踊家を指導者に迎えます。	8人	48回	延べ 76人	39回
6	4月～	主催	利用者情報の提供 項目Ⅳ-1-(3)-②	同上	久良岐能舞台HP上に利用者情報を掲載します。		通年		通年
7	9月	主催	利用者団体の 会員募集支援 項目Ⅳ-1-(3)-③	同上	施設利用者団体の会員を募集するチラシを作成し、市内配布、掲示等を実施します。		1回		通年

4 能楽等の技術研鑽・育成支援への取組

No	実施 時期	主催 ／ 共催	事業名	会場	事業内容	入場 見込	事業 回数	入場 実績	事業 回数 実績
1	6月～	主催	〈再掲〉 久良岐能楽教室 謡・仕舞（初級） 項目Ⅳ-1-(4)-①	久良岐 能舞台 (能舞台)	能の基本、謡と仕舞を初歩から学ぶ。喜多流・宝生流・金春流。	各流 5人	各流 36回	延べ 233人	延べ 89回
2	4月～	主催	〈再掲〉 久良岐能楽教室 謡・仕舞（中級） 項目Ⅳ-1-(4)-①	同上	初級終了及び経験者が謡・仕舞を学ぶ。喜多流・宝生流・金春流。	各流 1～3人	各流 36回	延べ 567人	延べ 104回
3	6月～ 9月	主催	〈再掲〉 久良岐能楽教室 囃子 項目Ⅳ-1-(4)-①	同上	能の音楽、囃子を初歩から学ぶ。	10人	15回	延べ 68人	16回

4	4月～	共催	〈再掲〉 能楽囃子合奏研究会 (上級) 項目IV-1-(4)-②	同上	囃子の演奏技術が 一定のレベルに達 している方を対象 に、能楽囃子を学 ぶ。	10人	12回	諸事情により 開催なし	
5	5月～	主催	〈再掲〉 日本舞踊基礎教室 項目IV-1-(4)-①	同上	日本舞踊の基礎と 伝統芸能の様々な 事柄を学ぶ。2年 制。	8人	48回	延べ 76人	39回

5 能楽等と市民を結びつけるための情報提供及び広報・プロモーション活動の実施

No	実施 時期	主催 ／ 共催	事業名	会場	事業内容	入場 見込	事業 回数	入場 実績	事業 回数 実績
1	毎月	主催	久良岐能舞台HP運 営 項目IV-1-(5)-①	久良岐 能舞台 (能舞台)	HP上に施設案内情報、利 用情報、自主事業情報等を 常に最新の情報で掲載し ます。		通年		通年
2	随時	主催	広報・プロモーション の実施 項目IV-1-(5)-②	同上	運営に係る各種情報を新 聞・タウン誌等に提供し、 久良岐能舞台がより身近 になるようにします。		通年		通年
3	随時	主催	魅力的な情報提供 項目IV-1-(5)-③	同上	テレビ等のメディアから の撮影引き合いには積極 的に対応します。		通年		通年
4	随時	主催	人権侵害・個人情報 保護への適切な配慮 項目IV-1-(5)-④	同上	広報や情報提供に際して は、人権侵害、個人情報の 漏えいが無いように適切 な管理を行います。		通年		通年

6 能楽等に関する地域との連携、事業の実施

No	実施 時期	主催 ／ 共催	事業名	会場	事業内容	入場 見込	事業 回数	入場 実績	事業 回数 実績
1	10 月	共催	第11回 久良岐まつり 項目Ⅳ-1-(6)-①	久良岐 能舞台 (能舞 台)	地城市民・自治会・社会福 祉協議会・利用者団体等と 協働により開催。庭園行事、 能舞台行事を2日間で実 施。	2,00 0人	1回	1,500 人	1回
2	10 月	主催	日本舞踊発表会 項目Ⅳ-1-(4)-③	同上	久良岐能舞台でお稽古をす る日本舞踊受講生等による 発表会。	40人	1回	84人	2回
3	10 月	主催	能楽講座受講生 研鑽会 項目Ⅳ-1-(4)-③	同上	久良岐能楽教室等でお稽古 をする受講生等による研鑽 会。	50人	1回	76人	1回
4	毎月	主催	市民協働の運営 項目Ⅳ-1-(6)-②	同上	市民のボランティアスタッ フによる自主事業企画、運 営、庭園清掃等を推進しま す。		通年		17回
5	未定	主催	他の施設等との 連携 項目Ⅳ-1-(6)-③	未定	横浜市内外の伝統芸能施設 等の連携の検討を進めます。		通年		1回

平成30年度 「久良岐能舞台」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	24,800,000		24,800,000	24,800,000	0	横浜市より
利用料金収入	4,570,000		4,570,000	4,539,000	31,000	
自主事業収入	6,594,000		6,594,000	6,706,125	△ 112,125	自主事業参加料、講座受講料、等
雑入	102,000	0	102,000	32,010	69,990	
印刷代	0		0	0	0	コピー代金
その他（飲料販売）	42,000		42,000	0	42,000	
その他（物販収入）	60,000		60,000	32,010	27,990	物販売上
収入合計	36,066,000	0	36,066,000	36,077,135	△ 11,135	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	18,578,400	0	18,578,400	18,172,992	405,408	
給与・賃金	15,840,000		15,840,000	15,868,618	△ 28,618	職員7名分
社会保険料	1,958,400		1,958,400	1,726,974	231,426	
通勤手当	720,000		720,000	547,400	172,600	
健康診断費	60,000		60,000	30,000	30,000	7名
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	該当なし
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	該当なし
事務費	2,230,000	0	2,230,000	3,942,721	△ 1,712,721	
旅費	300,000		300,000	229,975	70,025	
消耗品費	360,000		360,000	1,185,608	△ 825,608	コピー用紙・事務用品・コピー機消耗品・等
会議賄い費	0		0	35,440	△ 35,440	
印刷製本費	72,000		72,000	278,065	△ 206,065	チラシ・チケット・パンフレット・封筒等印刷費
通信費	900,000		900,000	1,171,247	△ 271,247	NTT・CATV・ドコモ・日本郵便・宅配便
使用料及び賃借料	40,000	0	40,000	121,894	△ 81,894	
横浜市への支払分	40,000		40,000	121,894	△ 81,894	物販目的外使用料、ドリンクコーナー目的外使用料、ごみゼロルート
その他	0		0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	0	50,000	
図書購入費	36,000		36,000	14,028	21,972	新聞、参考図書
施設賠償責任保険	110,000		110,000	90,030	19,970	賠償責任保険、ボランティア保険 12 名
職員等研修費	80,000		80,000	38,280	41,720	能楽研修
振込手数料	12,000		12,000	121,976	△ 109,976	銀行振込手数料
リース料	240,000		240,000	152,928	87,072	コピー機・AED
手数料	0		0	493,250	△ 493,250	
地域協力費	30,000		30,000	10,000	20,000	自治会費、地域行事参加費等
事業費	8,957,000	0	8,957,000	9,801,801	△ 844,801	
自主事業費	8,957,000		8,957,000	9,801,801	△ 844,801	小学校向け狂言鑑賞教室経費を含む
管理費	3,400,500	0	3,400,500	2,642,491	758,009	
光熱水費	1,558,000	0	1,558,000	1,542,785	15,215	
電気料金	1,500,000		1,500,000	1,542,785	△ 42,785	
ガス料金	0		0	0	0	
水道料金	58,000		58,000	0	58,000	
清掃費	120,000		120,000	127,403	△ 7,403	庭園清掃用具購入費、専門清掃委託費
修繕費	700,000		700,000	144,039	555,961	各種小規模修繕費
機械警備費	458,000		458,000	424,440	33,560	警備会社委託費
設備保全費	564,500	0	564,500	403,824	160,676	
空調衛生設備保守	60,000		60,000	0	60,000	設備保守会社委託費
消防設備保守	206,000		206,000	0	206,000	同上
電気設備保守	240,000		240,000	403,824	△ 163,824	同上・館内蛍光灯・舞台照明ランプ・舞台用フィルター等
害虫駆除清掃保守	58,500		58,500	0	58,500	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
公租公課	1,820,100	0	1,820,100	1,363,800	456,300	
事業所税	213,000		213,000	213,000	0	
消費税	1,555,100		1,555,100	1,147,584	407,516	
印紙税	2,000		2,000	0	2,000	
その他（ ）	50,000		50,000	3,216	46,784	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	1,080,000	0	1,080,000	2,556,000	△ 1,476,000	
本部分	1,080,000		1,080,000	2,556,000	△ 1,476,000	一般管理費配賦額、HP運用
当該施設分			0		0	
支出合計	36,066,000	0	36,066,000	38,479,805	△ 2,413,805	
差引	0	0	0	△ 2,402,670	2,402,670	